ゆぁほうむ＊通信 冬号

編集・発行　社会福祉法人　豊生会　ゆぁほうむ榛原広報委員会
奈良県宇陀市榛原区長峯２００－１　℡０７４５－８２－８１１１

感染性胃腸炎の経緯

新年早々、感染性胃腸炎〔ノロウイルス〕が蔓延し、皆様方には大変御心配や御迷惑をお掛け致しました。

事の流れと致しましては、ゆぁほうむ榛原の特養三階において、一月九日夜に一人の方が嘔吐され、その後十一日夜に四人の方に下痢や嘔吐症状がみられ、翌十二日には十名を超える方が発症され、約二週間で三十八名のご利用者様が感染されました。

ノロウイルスは、ウイルスを含んだ食品や水を飲食することにより感染するケースと、患者の便や嘔吐物から感染するケースがあるのですが、今回のゆぁほうむ榛原の場合はご利用者様の嘔吐物からの感染と考えられます。患者の便や嘔吐物が空気中にウイルスを撒き散らすので、すぐに「密封」して捨てる必要があるのですが、「密封」していなかったことに集団発生の原因があったと反省しております。

感染されたご利用者は皆様、幸いにして症状が軽く、数回の下痢や嘔吐がみられるものの、一日から二日でお元気になっていただけましたが、下痢や嘔吐により体内から失われた水分と電解質を補給するために、水分補給と点滴をして、脱水の改善と電解質バランスの調整をさせていただきました。

感染性胃腸炎とは【胃腸風邪】ともいわれ、毎年何名かの方が発症されますが、一度にこんなに多くの感染者を出してしまったのは、介護に携わる職員への、感染の媒介とならないための教育が不足していたことに起因すると考え、一月末に感染症対策のための委員会を立ち上げ、既に作成していた感染症対応マニュアルの見直し、今後は全職員への周知徹底に努める所存でございます。

この度は、面会・ショートステイの御利用・配食サービス等を中止させて頂き、皆様方には御迷惑をお掛けいたしましたが、二月六日より御家族様の面会も始まり、元気なゆぁほうむ榛原に戻っております。皆様方の御理解と御協力に感謝をし、御心労をお掛けしました事を心より深くお詫び申し上げます。

《人間大好き》

花のような笑顔

湯川　和子様

「こんにちは」明るい声で、挨拶をされているのは、特養二階にお住まいの、湯川和子様です。それでは、早速インタビューに移りたいと思います。

Qお花が好きと聞きましたが？

A「そうやね、菊の花が好きかな。家でも菊を育ててたよ。」

Q家で、お花を、活けたりされていたのですか？

A「そやね、ちゃんと活けられるように、習いに行ってたし、お茶も習ってたんよ。」

お花だけでなく、お茶にまで通じているのには、感服いたしました。

Q他には何かされていましたか？

A「習いはしてないけど、お花に行く時とかは、自分で着物を着付けていっとったんよ」

特養のマドンナ、湯川さん

着物を着付けてお花を活けている、素敵な姿が、目に浮かびます。

これからも、**可憐で清楚なその、お花のような笑顔**で、皆様の心を、和ませて下さいね。

《メッセージ》

クレアーレにお住まいの、小泉ますの様。来年で九十六歳になられ、とても高齢ですが、お元気に過ごしていらっしゃいます。

月に何度か、ご家族の方がご面会にいらっしゃっており、その時に、小泉様に向けて、お手紙を書いておられるので、二通、紹介させて頂きたいと思います。

「昨年に入所させていただき、ちょうど一年が過ぎました。元気になって暮らしていることを、感謝しております」

「コスモスの花も美しく咲いています。昨日は、孫の運動会に行ってきました。おばあさんも、運動会がすきで、よく孫の学校に行って応援したものですね。」

この手紙は私たちの心まで、こんなにも、温めてくれているのですから、**小泉様にとっては、まさに元気の源**、と言える位のものではないでしょうか。

花より綺麗な小泉さん

職員が、お部屋を訪ねると、「どこいっとたんで」と笑顔を向けてくださる小泉さん。これからも、素敵な笑顔で、お元気に過ごしてくださいね。

《創立祭》

去る十二月四日に「第十回ゆぁほうむ榛原創立祭」が開催されました。

今年は、毎年恒例、天光軒満月先生の歌謡ショーで始まるという、豪華絢爛な幕開けとなりました。素晴らしい歌声で、会場は開始早々、大盛り上がりとなり、歓声の中、次の出し物、職員による**大感動巨編「舌切り雀」**がスタートしました。

出し物を楽しむ峯さん

やはり、といいますか、ゆぁほうむ職員が、ただの劇で終わるわけはなく、完全な喜劇となっており、会場から笑い声が絶える事はありませんでした。笑い疲れた後は、ケアハウスの皆様による、大正琴で心を、先生とご利用者様による、３Ｂ体操で体を潤し、昨今流行している、癒し、となったとおもいます。

３Ｂ体操で歌う香束さん

さて、今年は十周年ということで、スペシャルゲストをお呼びしました。誰か、といいますと、な、なんと、あの**美空ひばりさんの実妹でいらっしゃいます、佐藤勢津子様です。**日本最高の歌手の、妹さんということで、会場は、この日一番の盛り上がりを、見せました。十周年に相応しい、その透き通る歌声は、私たちの心を、魂を揺さぶり、涙を流される方も、いらっしゃるほどでした。最後には皆様に、握手までして下さり、大歓声と拍手の中、創立祭は、その幕を閉じていきました。そして皆様はこう思われたでしょう、いままでで一番楽しかった創立祭だった、と…

職員と歌を楽しむ渡邉さん

成人式の挨拶に来てくれました。

職員米田さんが成人式帰りにゆぁほうむに遊びに来てくれました。ご利用者様は「ほんときれいで、見違えるようねぇ」とおっしゃっておられました。

ケアハウス

サークル活動

今回は、ケアハウスに入居されている方々のサークル活動をご紹介します。

毎週土曜日、日曜日に大正琴、ハンドベル、折り紙、カラオケ、習字とそれぞれに思い思いのサークルに参加し、楽しんでおられます。大正琴やハンドベル、カラオケでは、次々と新しい曲に挑戦しておられますが、初めは「難しいなぁ」「今度の曲はできるかなぁ」と思うそうですが、それでも練習を重ねる毎に上達し、最後にはどの方も揃って自分のものに出来るまでになっておられるようです。

折り紙も出来上がりを楽しみに皆さん一生懸命取り組んでおられます。

折り紙の難しいところは？と尋ねると・・・

「角や端をきっちり合わせるところと、折り目をはっきりさせること」だそうです。

今までの作品はくす玉のような立体的なものを沢山作られたようですが、近頃は、リングのように輪の形になるものに挑戦しておられるそうです。

なかなか難しそうですが・・・

「指先を使うのが、段々いうことがきかなくなってきて時間がかかるけど、指先を使ってないと動かなくなるような気がして・・・。」や「認知症の予防だと思って頑張ってるんだけど出来上がると嬉しいよ。」「一つ出来ると自信が持てて、次のものに挑戦してみようかなと思います。」など思いはそれぞれですが、完成したときの喜びは、皆さん同じ満足感いっぱいの嬉しさの様です。

習字は、なかなか難しくお手本とにらめっこしていてもその人のクセがあったりして筆の運び方など何度も練習しないといい字が書けないそうです。

「気持ちを落ち着かせて、集中し、精一杯してるつもりが、やはり先生に注意されるんです。」とおっしゃるご利用者様。私（広報委員）も学生の頃に五、六年ほど書道をしていた経験があり、おっしゃることがよく分かります。

どのサークルも参加されている皆さんは誰のためでもなく、自分の自由な時間に楽しんで尚且つ、仲間に刺激を受けながら、頭を働かせる事によって、認知症の予防に努めておられることは、揃って共通しているようです。益々、皆さんの活発な活動を楽しみにしています。

ホームヘルパー

今年の冬は、各地で大雪が降るなどとても厳しい冬となりました。私たちヘルパーは寒さに負けず、ご利用者様のお家に訪問させていただき、日々サービスを提供させていただいています。

サービス提供させていただいている中で、ご利用者様が

「歯が痛い。」

「入れ歯が合ってない。」

「歯茎がはれて、痛い。」

ということが多いようです。歯が痛いとご飯が食べにくく、自分の好きな物も今までのように食べられずとてもつらそうでした。

食事量が少ないと、ぼんやりしてきたり、皮膚がかさかさしたり、尿量が減り、口の周りや舌が乾いてきます。これが脱水症状といわれているものです。血液がドロドロになり、血管がつまって脳梗塞・心筋梗塞を引き起こすと言われています。

歯が痛いだけで、脳梗塞を起すかもしれないとは、本当に怖い話です。

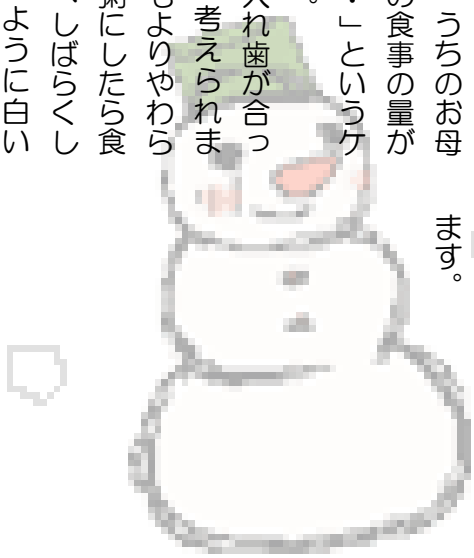
やわらかくて、のどにくっつかないので食べやすい食品をあげてみますと・・・

プリン・ヨーグルト・ゼリー・卵どうふ・茶碗むし・とろろいも・アイスクリームなどがあります。

野菜・肉・魚を柔らかく煮込んだり、ミキサーにかけたり、また裏ごしすると食べやすく、栄養もしっかりとれることでしょう。

食べやすい物を食べて、食事と水分を摂って脱水にならないようにして頂きたいです。

また、「最近、うちのお母さん、お父さんの食事の量が減ってきて・・・」というケースもあります。歯茎の痛みや、入れ歯が合っていないことも考えられます。ご飯をいつもよりやわらかく炊いたり、粥にしたら食事の量が増えて、しばらくしたらまた以前のように白いご飯を食べられるようになり、食事量も元に戻った！というケースもあります。



食事量が減ったといってもさまざまな原因が考えられるようです。

私たちヘルパーは、ご利用者様とご家族様と共に、その人に応じた良い方法を見つけて行きたいと思っております。

デイサービス

レクリエーション

デイサービスでは、様々なレクリエーションを、基本的には一週間を月曜～水曜の前半と木曜～土曜の後半に分けて、違った内容で提供させて頂いております。これまで紹介させて頂いた遠足・夏祭り・運動会といった大きな行事は、職員が主に用意を担当して、ご利用者様に日頃中々味わうことの出来ない事を楽しんで頂こうという目的で行っていますが、通常のレクリエーションは、ご利用者様の「こんな事をするのが好き、得意！」というご意見をお聞きした上で、体操・製作・カラオケ・お菓子作り・クイズ大会・ゲーム大会等のプログラムを一ヶ月単位で予定し、午後二時過ぎから行なっております。ご利用者様が主体となる内容を心掛け、企画を進めています。こういったレクリエーション以外にも、毎日のメニューとして来苑後の朝の体操・食事前の嚥下体操・お帰り前の体操を実施。今後の介護方針のキーワードの一つとなる〈予防〉を視野に入れ、体操レクリエーションには特に積極的に取り組んでいます。

元気に体操！

多くのご利用者様が熱心に参加される様子から、「身体機能の維持」は、誰よりもご利用者様ご自身が強く望んでおられる事を実感致します。

しっかり腕を伸ばして！

また、午前中は主に入浴サービスが中心となるのですが、季節感を感じる事の出来る貼り絵・ぬり絵等を用意して、入浴の待ち時間を使い、ご利用者様に楽しんで頂いております。同じ原画であっても、個性が表現されていて、出来上がって来る作品にはそれぞれに違った良さが光ります！

梅の花

2月3日は節分の日。デイサービスでも、楽しく（？）鬼退治を行いました。

鬼？の登場に場内爆笑！

ゆぁほうむ榛原＊10年の歩み

平成７年１月　社会福祉法人豊生会設立
理事長　森下　豊就任

理事長 森下豊

ゆぁほうむ榛原外観

平成7年12月　特別養護老人ホーム　ゆぁほうむ榛原(５０床)
短期入所事業所　ゆぁほうむ榛原(２０床)　} オープン

平成８年４月　老人デイサービスセンター　ゆぁほうむ榛原
ケアハウス　ゆぁほうむ榛原　} オープン

平成８年６月　在宅介護支援センター　ゆぁほうむ榛原オープン

平成12年１月　ホームヘルパーステーション開設

平成12年４月　居宅介護支援事業スタート

平成12年12月　特別養護老人ホーム　ゆぁほうむ榛原(５４床)
短期入所事業所　ゆぁほうむ榛原(１６床)　} へ転換

平成16年10月　特別養護老人ホーム　ゆぁほうむ榛原増築(３０床)
(全室個室ユニットケア)

増床後正面玄関

～関連施設～

平成４年４月　森下内科医院開業(橿原市)
平成６年６月　医療法人豊生会設立　理事長森下　豊就任
平成８年４月　医療法人豊生会　加藤クリニック開業(榛原町)
平成14年11月　医療法人豊生会　村上クリニック開業(大淀町)
介護老人保健施設　でぃあほうむ吉野オープン(８０床)(大淀町)
〔デイケア・ショート併設〕

「俳句」

片山多迦夫様作

冬霧や　ゆらめき昇る
日がふたつ

周叫ぶ(おらぶ)冬将軍の風の音

待春(たいしゅん)の蕾微塵(みじん)に雲間草(くもまぐさ)

(注)雲間草…アルプスや北海道の高原に咲く山草

「睦月三句」

四日須美子様作

七草の粥は老友(とも)らを

温めり
　初泣きは優しき孫の
メッセージ
　初雪に薄れ記憶の
ゲレンデ

「短歌」

内藤妙子様作

止めどなく降りしきる雪
遠き日の　十勝の冬を
想いおこせり

木枯しに枯葉散り果て
寒々と　裸の銀杏
路に居並ぶ

美しき音楽聴いて
涙する　至福のときを
今日(きょう)も明日(あした)も

この3月はじめ、ゆぁほうむから ペガサス（天馬）が飛び立ちます！

ケアハウスご入居の
片山様からのお知らせ

あしべ俳諧塾主宰　　片山多迦夫著

俳諧自選集「ペガサス」　定価３３００円（消費税・送料共）

内容・俳句三六五句・連句五五巻・詩文六篇／2006 年３月 15 日発行

発行・編集工房ノア　電話０６・６３７３・３６４１　ＦＡＸ０６・６３７３・３６４２

振替００９４０―７－３０６４５７

さつまいも ありがとうございました。

十一月に津田求様からさつまいものご寄付をいただきました。そのやきいもを使って、十一月二十日に焼き芋パーティを行いました。二階ベランダでやきいもを焼き、レストランで召し上がっていただきました。

「ありがとう、おいしいわ」とおっしゃっておられました。